

政策評価調書(24年度実績)

政策名	海外戦略の推進	政策コード	Ⅱ-5	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部、教育庁
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------------------

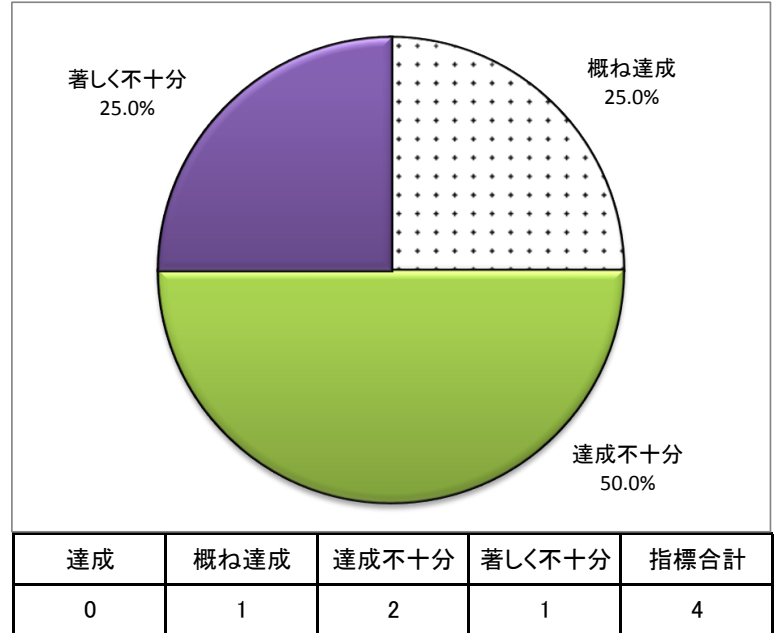
【Ⅰ. 政策の概要】

アジアの発展を大きなビジネスチャンスとしてとらえ、グローバルなものづくり拠点の構築や海外市場の開拓等によるアジアの活力の取り込み、留学生の能力を発揮できる仕組みづくり等によるアジアの人材の取り込みなどを進める。
併せて、国際人材の育成を図るため、県内留学生等との交流や訪日教育旅行の受け入れを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	アジアに開かれた飛躍する県づくり	著しく不十分	C
2	国際人材の育成	概ね達成	B

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

経済のグローバル化や、国内の少子高齢化・人口減少に伴う国内需要の減少に対応し、地域に活力や競争力を生み出すため、経済発展の著しい中国をはじめとするアジア各国と、経済・観光・文化・教育など多くの分野で連携を強化し、アジアの活力を取り込むことが重要である。

平成23年に策定した「大分県海外戦略」では、「アジアの活力を取り込む」、「アジアの人材を取り込む」、「文化・スポーツ・国際交流の促進」、「国際人材の育成」「インフラの整備」という5つの戦略のもと、海外プロモーションの実施や、県人会・留学生OBとの連携、県内企業の海外展開に向けたビジネス交流の枠組みづくりなどを進めている。

尖閣諸島を巡る日中関係の悪化などの状況もあるが、上海事務所の活用や湖北省との交流促進等を通じ、関係強化に努めていくほか、高い経済成長を続けているアセアン地域の位置づけも重要となっている。

また、国の日本再興戦略やTPPの動向などにも注視していく必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
留学生の県内企業への就職者数	60.50%
<著しく不十分となった理由>	
留学生側の県内企業に対する認知度の低さや、企業側の留生活用に対する認識不足が依然としてあるため、目標を達成できなかった。	